

平成 27 年 10 月 28 日
株式会社 日本政策金融公庫

「新事業育成資金」の上半期実績が過去最高に
～中小・ベンチャー企業の新事業への挑戦意欲は依然として高水準～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）中小企業事業の特別貸付制度「**新事業育成資金**」の平成 27 年度上期の融資実績は、**584 社・238 億円**と何れも過去最高となりました。

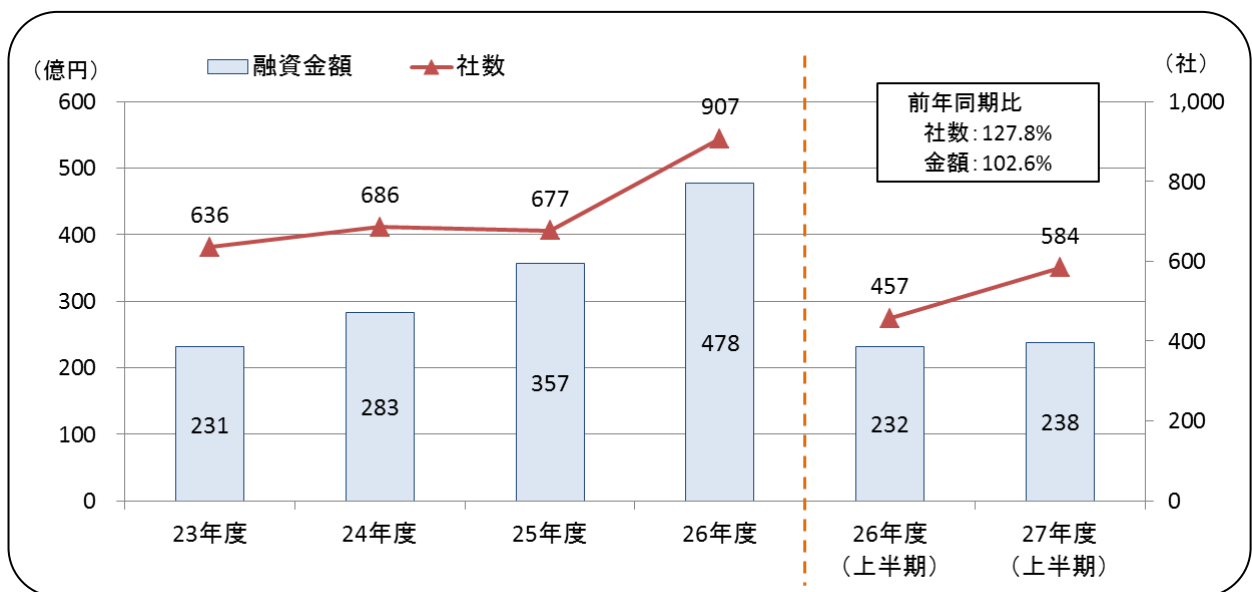
平成 26 年度実績（907 社、478 億円）は、景気の回復基調が続く中、売上拡大を見込んだ中小・ベンチャー企業における新事業への挑戦意欲の高まり等により、平成 12 年の制度創設以来過去最高となっていました。今期上半期においてもその流れは変わらず、平成 26 年度上期（457 社・232 億円）を超える実績となっています。

「新事業育成資金」は、高い成長性が見込まれる新たな事業へ取り組む中小・ベンチャー企業を支援する特別貸付制度であり、当該資金制度を活用して成長し、株式公開に至る企業も出てきております。

日本公庫中小企業事業では、平成 27 年 4 月、地域のベンチャー企業等の支援を一層強化するため、東京に「東日本新事業・ベンチャー支援センター」、大阪に「西日本新事業・ベンチャー支援センター」を新設し、担当者を増員しています。

今後も「新事業育成資金」を活用した、高い成長性が見込まれる新事業に取り組む中小・ベンチャー企業を積極的に支援していきます。

【新事業育成資金の推移】



【新事業育成資金利用企業の株式公開事例】

企 業 名	サンバイオ株式会社	代 表 者	森 敬太
住 所	東京都中央区	業 種	医薬品製剤製造業
新事業：「脳梗塞治療薬等の開発」			
<p>サンバイオ株式会社は、再生細胞薬の研究、開発、製造及び販売を手掛ける再生細胞事業を展開するベンチャー企業。東京を本社とし、米国のサンフランシスコに研究開発の主たる拠点を構えている。</p> <p>健常者の骨髄液を使った、当社グループ独自の再生細胞薬である「SB623」は、米国子会社では既に慢性期脳梗塞を対象とした第 II 相試験の段階に入っており、さらに、外傷性脳損傷を対象とした第 II 相臨床試験も開始されている。</p> <p>日本公庫は、脳梗塞疾患から外傷性脳損傷や加齢黄斑変性症等他のプログラムへの適応拡大を図る等、当社の事業を加速させるために必要な資金として、平成 26 年 8 月、新事業育成資金 3 億円の融資を実施。</p> <p>平成 27 年 4 月 8 日、東京証券取引所マザーズ市場に上場を果たしている。</p>			

「新事業育成資金」の概要（中小企業事業）

	制度概要
融 資 対 象	<p>高い成長性が見込まれる新たな事業を行う中小企業であって、次の1～3の全てに当てはまるかた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新たな事業を事業化させて7年以内のかた。 2. 次のいずれかに該当するかたなど。 <ol style="list-style-type: none"> ① 公庫の成長新事業育成審査会から事業の新規性・成長性について認定を受けたかた。 ② 他企業において利用されていない知的財産権に係る技術を利用して行う事業、中小企業技術革新制度（SBIR）に係る特定補助金などの交付を受けて開発した技術を利用して行う新事業、エンジェル税制の適用要件を満たす中小企業者が行う新事業等、一定の製品化及び売上が見込めるかた。 3. 公庫が継続的に経営課題に対する経営指導を行うことにより、円滑な事業の遂行が可能と認められるかた。
資 金 使 途	新たな事業を行うために必要な設備資金及び長期運転資金
融 資 限 度	6億円
融 資 期 間	設備資金 15年以内（うち据置5年以内） 運転資金 7年以内（うち据置2年以内）
融 資 利 率	融資後5年目までは特別利率③（上限3%）、 6年目以降は基準利率+0.2%（上限3%）
そ の 他	当公庫では、融資後も、経営課題についてきめ細かいアドバイスを行います。